

7/24 (日) 16:00~ チャペルコンサート Vol.42 入場無料

今年も暑さを吹き飛ばすゴスペルコンサートをお届けします。

出演：ジョイフル・ゴスペル・クワイヤー

インストラクター：MOMO大久保和慧(ピアノ&指揮)、けんけん田中券吉(ベース)

プログラム：

- Church on Fire
- Above All
- 小さな祈り
- Every Praise
- Hallelujah, Salvation and Glory
- In the Sanctuary
- Total Praise etc.



今回歌う新曲をご紹介します。

🚶 Above All

Above all powers, above all kings
 Above all nature and all created things
 Above all wisdom and all the ways of man
 You were here before the world began

どんな権力 どんな王よりも先に
 どんな自然 どんな被造物よりも先に
 どんな知恵 どんな人生よりも先に
 世が始まる前からあなたはおられた

Above all kingdoms, above all thrones
 Above all wonders the world has ever known
 Above all wealth and treasures of the earth
 There's no way to measure what you're worth

どんな王国 どんな王冠にもまして
 世にあるどんな悩みにもまして
 地球上のどんな富や宝にもまして
 あなたの尊さは計り知れない

Crucified, laid behind the stone
 You lived to die, rejected and alone
 Like a rose, trampled on the ground
 You took the fall, and thought of me
 Above all

十字架につけられ 墓に入り
 死ぬために生きられた
 拒絶と孤独の中で
 一輪のバラのように 踏みつけられ
 あなたは責めを負われた
 私の考えなど及びもつかないこと

🚶 小さな祈り

この心の恐れや 苦しみのすべてを
 今わたしの内から 取り除いてください
 ずっと幼い頃に 空を見上げながら
 感じていた平安 与えてください
 祈り求めたとき 目の前の雲が
 溶けてゆき ただのすみきった空
 こんなに大きな空の下で
 空より大きな主のふところ
 今わたしはただ あなただけの力の中で
 生かされてる



2016

7月号 107

宝塚栄光教会

神様は待っておられます

聖書の中には、感動的なお話がたくさん収められています。その中に“放蕩息子”のたとえ話があります。

ある日、わがままな弟息子が、父に財産の分け前をねだり、金を受け取ると家を飛び出しました。町に出て一旗揚げようと思ったのです。ところが、様々な誘惑にあい、放蕩に身もちくずし、財産を使い果たしてしまいました。折からのききんのために、食べることに窮しはじめ、かろうじて豚の番人に雇われて、豚の餌で飢えをしのぐまでに落ちぶれてしまいました。

そのとき、彼は本心に立ち帰りました。自分が間違っていたことに気がついたのです。彼は、父の元に帰って、父に謝り、雇い人の一人としてでも家に置いてもらおうと決心しました。

一方、父のほうは、息子の帰りを今日か明日かと待っていました。そして、遠くから息子が歩いてくる姿を認めると、走り寄って彼を抱きかかえたのです。父の思いの中には、息子への怒りや恨みや叱責などは微塵もなく、無条件で彼を赦し、愛をもって迎え入れ

たのです。もちろん、雇い人なんかではなく、実の息子として…。

父はこう言っています。「この息子は、死んでいたのが生き返り、いなくなっていたのが見つかったのだから。」(ルカの福音書 15章 24節)

弟息子とは私たちのこと、父とは神様のことです。私たちは、罪を犯して神様から離れ、滅び行く者でした。しかし、罪を認め、悔い改めて神様の元に立ち帰ろうとするなら、愛なる神様は、喜んで私たちを迎えてくださいます。ただし、神様のほうでは犠牲が払われていました。神の子イエス・キリストの十字架です。罪のないキリストは、私たちに代わって十字架にかかれたのです。このキリストの贖いのゆえに、私たちは、罪のために死んでいた魂が生き返らされ、滅びから救われるのです。

あなたにも、ぜひ、この救いをいただいてほしいのです。父の元に帰ろうという思いがあれば、神様はいつでも迎えてくださいます。父なる神様は、いつもあなたを待っておられます。

8/21 (日) 14:00~ 入場無料

森繁 昇サマーコンサート Vol.14



教会のひとこま ①

6月、満開を迎えたあじさいが、教会を訪れる人の心を和ませてくれました。



教会のひとこま ②

6月の第2日曜日は花の日でした。子どもたちと一緒に消防署を訪問して、感謝の気持ちを込めてお花を届けました。



ケアプラン
デイサービス

オリーブの実

お気軽にお問い合わせ・ご相談ください。



「ケアプラン オリーブの実」

☎:0797-73-6055

「デイサービス オリーブの実」

☎:0797-73-6077

宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9

TEL:0797-73-6076

E-mail : info@takara-eikou.com

http://www.takara-eikou.com

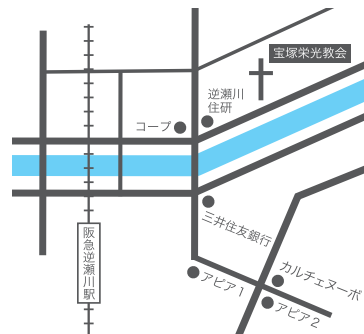
わたしたちは統一教会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく正統的なキリスト教会です。もしお困りの方はご相談ください。

希望のダイヤル

毎週更新。24時間つながります。

0797-77-3746

ポッドキャストでも配信中！ホームページから利用できます。





「クロユリ」

高山植物として知られる クロユリは
本州の中部より 北の高山地帯 東北や北海道
アラスカ シベリヤ サハリンなど 北半球に自生する
花の時期が 7月頃というのは
北の山々が 長い冬からようやく 遅い春を
迎えた頃だからである

冬を耐えてきた植物も 待っていたかのように
つぼみをつけ 花を咲かせる
くすんだ紫色の 地味な花である
花の直径は3cmほど 高さも15~25cm
クロユリは 蝶やハチではなく ハエなどに
花粉を運んでもらう
そのため 強い匂いを出している

高山は 昼夜の気温の差や 強い風が 吹き荒れることもある
クロユリは 厳しい自然環境に適応して 花を咲かせる
少しうつむきかげんに咲くのも そのためだろうか

けなげに 可憐に 夏のこの期間 精一杯に咲くクロユリ
その日数は 10日ほどである
しかし 凜として まっすぐに咲く姿には 胸を打たれる

いかに幸いなことでしょう

あなたによって勇気を出し 心に広い道を見ている人は
嘆きの谷を通るときも そこを泉とするでしょう

雨も降り 祝福で覆ってくれるでしょう

詩編84篇(聖書)